

1. 件名：日本原子力研究開発機構新型転換炉原型炉ふげんの原子力事業者防災業務計画の修正の検討について

2. 日時：令和4年9月8日 10:30～10:40

3. 場所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

澤村防災専門官、川本専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

蔦澤専門職

日本原子力研究開発機構

新型転換炉原型炉ふげん 安全・品質保証部 施設保安課 マネージャー、他4名

5. 要旨

日本原子力研究開発機構から、新型転換炉原型炉ふげんの原子力事業者防災業務計画の修正として、以下を検討しているとの説明があった(資料1)。

- ・ ERSS伝送開始に伴うデータ伝送項目の変更
- ・ 通報連絡先の組織名称変更
- ・ その他記載の適正化

原子力規制庁から、ERSS伝送開始に伴うデータ伝送項目の変更について、今後は原子力事業者防災業務計画の確認に係る視点等について(平成29年9月)(以下「確認に係る視点等」という。)中、3.に基づく連絡文書の提出を行うよう伝え、日本原子力研究開発機構から、次回から手続きを行うとの回答があった。

6. その他

配布資料：

資料1 新型転換炉原型炉ふげん原子力事業者防災業務計画の修正について(日本原子力研究開発機構新型転換炉原型炉ふげん)